

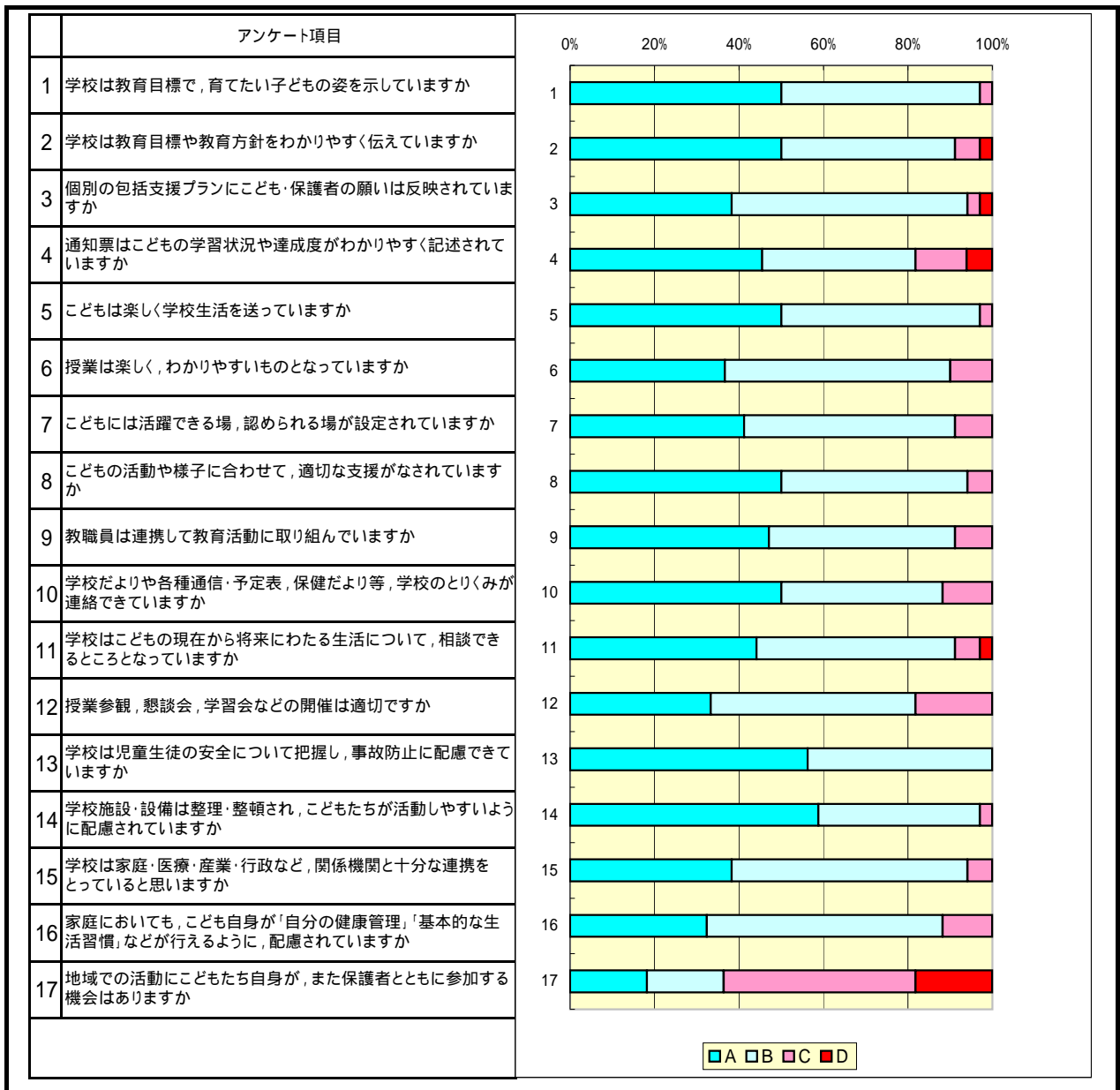
第2回 学校評価アンケートの結果について

保護者のみなさまには、平素より本校，学校教育推進のためにご支援とご協力をいただき、誠にありがとうございます。本年度，本校では学校評価システムの活用を進め，学校改善のために活かすために，とりくみを進めております。子どもたちへの教育活動は保護者，病棟・施設などのみなさまと学校との信頼関係が大切であることを確かめさせていただきました。今回実施いたしました「第2回学校評価アンケート」においても，学校評価を通して，子どもをとりまく関係者が，それぞれの立場から「自らをふりかえり，互いに高め合う」ことが大切であることを確かめることができました。今後も，学校評価システムを有効に活用することによって，子どもの教育課題を共有することをめざして，改善を図りながら，学校評価に取り組んで参ります。これからも，ご理解とご協力をお願いいたします。

1 学校評価(保護者)アンケート

A しっかりできている よくあてはまる B どちらかといえばできている おおむねあてはまる
C どちらかといえばできていない あまりあてはまらない D ほとんどできていない
E 無回答

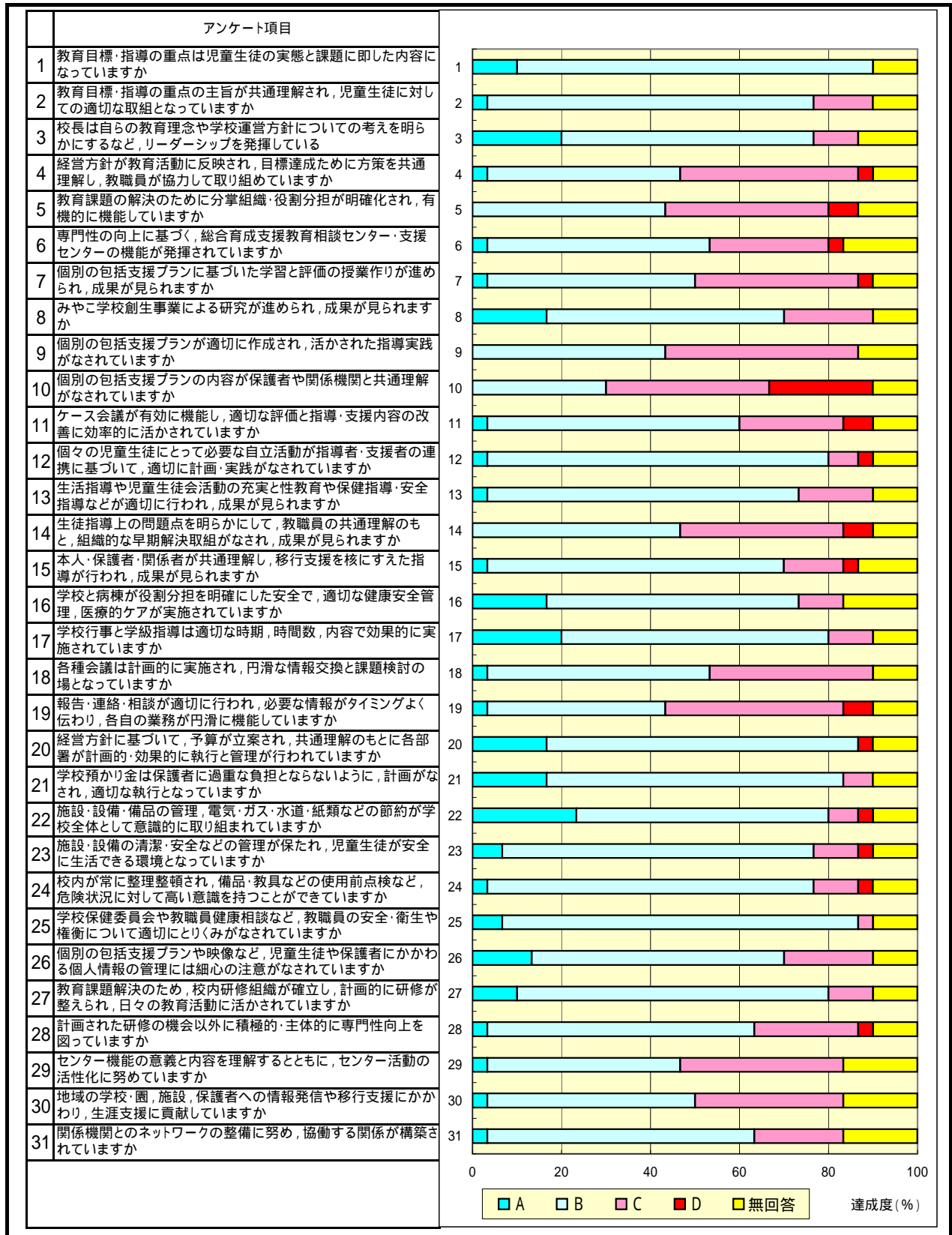
	普通科	職業科	全体
回収数	5/11	29/46	34/57
回収率	45%	63%	60%



2 学校評価(教職員)アンケート

A しっかりできている よくあてはまる B どちらかといえばできている おおむねあてはまる
 C どちらかといえばできていない あまりあてはまらない D ほとんどできていない
 E 無回答

回収数	27/30
回収率	90%



3 学校評価アンケート全体を通じて

「第2回 学校評価（保護者）アンケート」の分析結果から、全体的な傾向として、概ね肯定的な評価をいただいております。しかし、4（通知票のわかりやすい記述）、6（わかりやすい授業）、10（学校からの情報発信）、12（授業参観の開催）、16（家庭の役割）、17（地域の活動）については、他の項目と比較して改善を求められている評価の割合が高くなりました。これらの項目は児童・生徒一人ひとりに関わる内容が多いようです。このことから、学校全般としての教育活動については概ね肯定的にとらえていただいておりますが、保護者ご自身の子どもに関する具体的な項目については、さらなる充実と具体的な改善を求められていることであると捉えます。学校は保護者のみなさまからいただいた期待をしっかりと受け止め、学校教育目標、具体的な教育活動の実施状況、さらには、改善すべき課題とその解決の方策、また、家庭や地域における課題をお知らせしていくことが必要であると思われまます。

「第2回 学校評価（教職員）アンケート」については31項目の評価を実施しました。評価項目には保護者アンケートと共通する内容があります。結果は4（教職員の協力）、5（学校組織）、7（個別の包括支援プランに基づいた授業作り）、9（「個別の包括支援プラン（キャリアプラン）」に基づいた授業作り）、10（プラン内容の共通理解）、14（生徒指導）、19（円滑な業務）、29（センター機能）、30（生涯支援）が他の項目と比較して、教職員自らが教育活動をふりかえり、点検を進める中で課題点が見えてまいりました。特に保護者アンケートとの連動の観点から見つめると、個別の包括支援プラン（キャリアプラン）の運用やプランに基づく授業や支援内容の設定、広報活動に課題があると考えられる教職員が多いという結果が出ました。これらの課題については今年度の重点方針と同じ内容です。学校としての改善点や充実すべき課題を明らかにし、教職員一人ひとりが目標を明確にして、取り組んでまいります。

4 学校評価の分析と考察について

1. 学校アンケートの回収数

2回のアンケート共に、回収率はほぼ60%でした。今年度のアンケートは可能な限り「記名」での回答をお願いしました。これは学校と保護者の信頼関係を高め、責任ある評価をお願いするためにも必要なことであると考えました。自由記述欄にご意見をいただきましたのは16名と、第1回を上回り学校教育活動への関心の高まりを感じ、大変うれしく思います。こうした意見を学校として真摯に受け止め、学校改善に活かしてまいりたいと思います。

2. 学校の教育方針と教育活動

「学校だより」や「学校ホームページ」で教育方針や教育活動を紹介させていただくとともに、授業参観や学校行事の公開などを通して、こどもたちの輝く姿や学校での教育活動や学校環境などできるだけご覧いただいたり、ご意見を伺う機会を設けました。保護者の方からは、「子どもは楽しく学校生活を送っている。活躍できる場、認められる場が設けられている」と感じていただいていることが学校評価から伺うことができました。さらに、学校のとりくみをタイムリーにお伝えしていくために、「学校ホームページ」の更新や授業参観・学習会の充実など、学校からの情報発信の改善とみなさまと協働した教育活動作りを図ってまいります。

3. 個別の包括支援プラン（キャリアプラン）に基づく授業と評価

保護者の皆様からは、「こどもの生活（現在の姿）の理解と捉え方」「将来の生きる力につながるために、今、最優先の学習内容は何か」「こどもの変容をどのように受け止めればよいか」等々、日々の授業について、多くのご意見をいただきました。個別の包括支援プランに基づく指導及び支援については、本年度「みやこ学校創生事業3年次研究」として、「一人ひとりの社会的自立につながる力を育てる」をテーマとして、「授業改善と授業研究」「教育課程・年間指導計画の整理」に取り組んでいるところです。こどもたち一人ひとりが将来、主体的に生きていく上で必要な資質や力の土台を育むためには、こどもをとりまく指導者・支援者の共通理解と連携が不可欠です。そのためには、プラン策定の意義をお伝えし、具体的な形で取り組んでいけるように、ケース会議・懇談会の設定や授業改善・授業研究を一層推進、充実を図ってまいります。

4. 学校評価アンケート

2回の学校評価アンケートの実施だけでなく、授業参観や学校行事の際にも、広くご意見を伺う場を設け、評価システムの目的について、ご理解をいただいております。さらに、みなさまから多様で客観的なご意見を伺い、評価していただけるように内容、項目、お尋ねさせていただく方法などについて、改善を図ってまいります。そして、学校評価システムを信頼性のあるものに高めていき、学校教育活動に活かしていく必要があると考えております。

5. 家庭の教育力・地域生活

今回、「育てたい子どもの姿」を共有するために必要な「家庭の役割」「地域の役割」について、初めてふりかえっていただきました。こども一人ひとりが社会の中で生活する力を持つには、家庭・地域・医療・学校など、こどもをとりまく関係機関がともに、それぞれの果たすべき役割を考え、具体的・現実的な支援をしていかなければなりません。今回のアンケートにおいては、地域の中でいかに生き生きとした豊かな生活の場を整えていくかについて、見直しと充実に向けた具体的な計画作りが必要であることがわかりました。